

平成30年北海道胆振東部地震災害検証について

検証の進め方

(1) 検証の視点

「災害検証実施要領」に基づく15の検証項目について、初動対応や応急対策などを対象に、評価できる事項と改善すべき事項を抽出・整理し検証を行う。

また、今回の大地震とそれに伴う道内全域での停電といった特徴等を踏まえ、「大規模停電による通信機能や医療活動、産業活動への影響」、「避難の長期化への対応」、「被災市町村への支援のあり方」といったテーマについて道関係部局、関係機関、有識者等からのヒアリングを実施する。

(2) 検証作業

検証項目について、防災関係機関等からの意見聴取、市町村や被災者からのアンケート調査、関係機関等からのヒアリングなどを素材として、対応状況の詳細や背景等について把握のうえ、課題等を抽出し、論点整理を行い、対応策等について検討の上、報告書(提言)として取りまとめる。

(3) スケジュール

第1回 (11/19)

第2回 (12/25) ~

* 月1回程度開催

中間提言(3月下旬)

報告書取りまとめ(4~5月頃)

・事象の把握
・課題等の認識

・課題や対応の
論点整理

・対策の一定の方向性
を提言(中間報告案)

・最終的な取りまとめ
(検証結果は公表)

※ テーマに応じて関係機関等からのヒアリング
(第1回目は、大規模停電に関して実施)